

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		解剖生理学Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	46 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員		高田 秀志	実務経験とその関連資格	理学療法士として、回復期病院や訪問リハ、デイサービスでの実務経験あり。 また、島根大学大学院で、地域包括ケアシステムについて学び、医科学修士を修了。			
《授業科目における学習内容》							
人の消化器系、内分泌系、生殖器系に関する解剖学的構造および生理学的機能について学習							
《成績評価の方法と基準》							
小テスト、筆記試験で総合的に評価を行う							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
解剖学、生理学 医学書院 OWL-P							
《授業外における学習方法》							
人体模型を用いて人体の構造や生理的現象について予習・復習を行う							
《履修に当たっての留意点》							
専門的用語が多いため、ワークや口頭試問を通して、暗記・理解に繋げていく							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器の構成と通過経路を説明できる		教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	消化管の全体像と消化の流れ				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	咀嚼・嚥下に関わる器官の構造を説明できる		教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	口腔・咽頭・食道の構造				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃の構造・括約筋・胃腺の働きを理解できる		教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	胃とその機能的構造				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	絨毛・腸腺の構造と吸収機構を説明できる		教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	小腸・大腸の構造と役割				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝小葉・胆管・膵管の配置と機能を理解できる		教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	肝臓・胆嚢・膵臓の構造				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	唾液・胃液・胆汁・膵液の分泌機構を説明できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	消化酵素と分泌の制御		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖質・脂質・タンパク質の分解と吸収経路を理解できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	栄養素の分解と吸収機構		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	蠕動・分節運動・迷走神経の関与を説明できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	消化管運動と自律神経		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の構造と機能を復習・確認できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	小テスト＋復習(消化器)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの定義・受容体・標的器官を理解できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	内分泌系の役割とホルモンの基本		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	放出ホルモン・抑制ホルモンの経路を説明できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ホルモン分泌の中枢制御		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	T3・T4・カルシトニン・PTHの作用を理解できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	代謝・カルシウム調節ホルモン		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	コルチゾール・アルドステロン・アドレナリンの働きを説明できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	副腎皮質・髄質ホルモン		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	血糖調節機構を理解し説明できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	インスリンとグルカゴンの作用		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系の構造と機能を復習・確認できる	教科書 配布資料 人体模型	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	小テスト＋復習(内分泌)		